



EAIE Conference 2008 in Antwerp

2008/9/9-2008/9/13

出張報告書

国立大学法人東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies



会計課出納係 大跡 尚美

企画広報課総務係 橋本 紀世子

1



Contents

- アントワープ大学訪問
- Conference Sessions
 1. JAFSA, JASSO, METI: developing an attractive international education environment
 2. The European Higher Education Area (EHEA) in a global context
 3. ERASMUS Intensive Programmes
 4. The EU-US Atlantis Programme
- EAIE会議の運営について
- 次回の参加者の方へ
- Information

2

Information day on 'Higher Education in Belgium' 1

Visit to the Antwerp University Association

1. ベルギーの高等教育の概略について(フランダース地方)

- 3つのコミュニティと地域 - オランダ語、フランス語、ドイツ語地域
- フランダース地域、ブリュッセル首都地域、ワローニャ地域

↓
独自の教育システムを持つ

- 高等教育機関の特徴
 - オープンアクセス
 - 授業料は年間540ユーロ
 - カリキュラム編成の自主性
 - 独自のプログラム編成が可能

高等教育機関の構造 (フランダース地域)

6 universities + 1 transnational university 22 colleges

↓
2004年 5 associations

3

Information day on 'Higher Education in Belgium' 2

Visit to the Antwerp University Association

アクレディテーションと質保証

サイクル: 8年



高等教育機関

新しいカリキュラムを実行

↓
自己評価レポート



質保証機関


↓
訪問調査を行い、
報告書を評価機関へ提出



評価機関

↓
評価報告書

4



Information day on 'Higher Education in Belgium' 3

Visit to the Antwerp University Association

2. ボローニャプロセスの取り組み

(EHEAによる2010年までの10 Action lines)

- ✓ Easily readable and comparable degree
- ✓ Two mail cycles
- ✓ A system of credit (ECTS)
- ✓ Mobility
- ✓ Quality Assurance
- ✓ European dimension in HE
- ✓ LLL
- ✓ Attractiveness of EHEA
- ✓ Involvement of HE institutions and students
- ✓ Doctoral programmes

5



Antwerp University Association (アントワープ大学連合)

- 1つの大学 (Antwerp University) と4つのカレッジ (School for nautical sciences and engineering, School for higher education Antwerp, School for higher education Charlemagne, Plantin School for higher education) の合計5つの機関から組織される。連合大学では主に学問教育、カレッジでは専門教育が行われている
- 学生は合計27,000名
- 85のコースプログラム
- 約150の選択科目
- 約4,500名の職員

6



Antwerp University Association (アントワープ大学連合)

- Antwerp Associationの特徴
 - ・地域が集中していること
 - ・多元的であること
 - ・工業デザイン・船舶科学・ダンスなどユニークなプログラムが充実していること
 - ・文化的なプログラムに力を注いでいること(ファッション・ビジュアルアーツ・音楽・ダンス・映画制作など)
- アントワープならではの特性(現代モード・文化の中心であること、ネットワークが盛んなこと)を生かして、教育システムを作っている



7



JAFSA, JASSO, METI: developing an attractive international education environment

- ◆ 留学生30万人受入計画について
- ◆ 各組織についての説明
- ◆ 短期留学のプログラム、実際の生活、奨学金等について
- ◆ Q & A

8

The European Higher Education Area (EHEA) in a global context

1. EHEA世界戦略

- ・ EHEA加盟国:46ヶ国
- ・ ボローニャプロセス/EHEAについて世界の関心を集め、ヨーロッパと他の国々との議論を促進する。
- ・ ヨーロッパでの協力のための枠組みを発展させる

2. EHEA 戦略の実行

- ・ 5つの優先項目
 - EHEAでの情報促進
 - ヨーロッパの高等教育の魅力と競争力の促進
 - 意見交換
 - パートナーシップを基礎とした強い協力関係そして
 - 資格の認証
- ・ OECD/UNESCOガイドライン“国境を越えた高等教育における質保証”との関係
- ・ 2008年4月に各大臣へレポート


9

ERASMUS Intensive Programmes (集中講座)

■ 内容

- ・ エラスムス助成対象事業の一つ
- ・ 少なくとも3つの国の高等教育機関の学生とスタッフで行われる2週間から6週間のショートプログラム
- ・ 専門トピックを効果的、また多くの国に教授することが可能
- ・ 多国籍グループの中で、学生と教師が学ぶことにより、多くの利益を得ることができ、視野が広がる
- ・ 教師においては、国際的な環境で教えることにより、教授方法において様々な視野を持つことができる
- ・ 研究活動や会議をサポートするものではない

10



ERASMUS Intensive Programmes(集中講座)

- 特徴
 - ・ショートプログラムによって特定の価値を付加出来る科目に焦点を当てる
 - ・参加している機関により評価と単位の証拠が与えられる
 - ・学問への多彩なアプローチを表現する
- 影響
 - ・学生の交流が期待できる
 - ・学問の質を高めるのに効果的である
- 望ましいあり方
 - ・教師と学生の比率・・・活発なクラスを目指す
 - ・ヨーロッパのインパクトを広める
 - ・急速に発展している新しい分野における知識の普及のために貢献する



11



The EU-US Atlantis Programme (アトランティスプログラム)

- Atlantis Programme
 - 共同で資金を負担することで教育サービスの向上を図り、EUとアメリカ双方のつながりをさらに推進していくために、2006年に新EU・合衆国教育協定として再締結されたプログラム。双方での学位授与・学生交換などを特徴とする。
 - ・対等な関係
 - ・同様の規模及び同レベルの高等教育システム
 - ・学生と教授の流動のバランスを取る
- 利点
 - ・for the institutions
 - 相機関との長期間の連携が期待できる
 - 世界に対して競争性が強化される
 - ・for the students
 - 外国で学ぶ素晴らしい機会
 - 国際的なスキル: 相互文化理解・順応性・自信・外国語
 - 雇用機会の拡大

12



The EU-US Atlantis Programme (アトランティスプログラム)

■ Main actions

- Transatlantic Degree action : joint or double degrees
- Excellence in Mobility Projects
- Policy Oriented Measures

■ Transatlantic Degreesの定義

- Joint degree: 2つの協定機関の名前で発行される1つの単位証明書
- Dual/double degree: 2つの協定機関がそれぞれ公式に認める2つの単位
- Joint or dual/double degreesは、少なくとも1つのEU及び1つのアメリカの機関によって授与される
- 学部レベルもしくは大学院レベルが対象

13



EAIE会議の運営について

- ワークショップは定員制で、現地で登録する時には人気のワークショップはすでに埋まってしまっていることもあるので、参加したい場合は事前にネットで登録しておくのが望ましいです。
- 参加者では北欧・オランダの方が多いように感じました。また、テーマによっては北米やカナダの方も見られました。
- ダウンタウンにある大学で、建物がいくつかに分かれていましたが、看板等がわかりやすく工夫されていました。
- ブースを出していた日本の大学は、国立大学1校（大分大学）、私立大学5校でした。
- information deskがいたるところに設置され、赤いポロシャツで統一された学生達が活躍していました。
- 歴史的建造物（オペラ座・中央駅など）をオープニング・クロージングイベントホールとして使用していて、開催都市のよいアピールとなっていました。
- 休憩時にはお茶やコーヒー、お菓子が振舞われたり、学生がベルギーワッフルを焼いていて、人気を博していました。

14

国際会議へ参加する方へ



- 登録は事前にオンライン登録しておいた方が簡単で時間もかからずお勧めです。（現地登録では手際が悪く、2時間くらい待ちました。）
- 現地の高等教育機関を訪問して話を聞くSite Visitsは、初めて参加する方、もしくは現地の高等教育機関を見学したい人にお勧めです。
- 各セッションにはレベルが書いてあり、introductoryの方がわかりやすいとは思いますが、興味のあるテーマに参加するほうが良いと思います。
- 服装は動きやすいものがよいです。ヨーロッパは雨も降りやすく、石畳の道が多いので、靴も歩きやすいものを履いていくことをお勧めします。
- 大学等の場合、パソコンが使えることがあるので、Web Mailのアドレスがあると便利です。
- 空港で500mlのお水が3.4ユーロ！でしたので、参考までに。
- 現地でしか食べられない料理・スイーツを是非堪能してください。

15

Information

- EAIE
www.eaie.nl/
- 2007-2009 ボローニャオフィシャルサイト
www.bologna2009benelux.org
- The gateway to academic and professional recognition
www.enic-naric.net
- The European Quality Assurance Register for Higher Education
www.eqar.eu
- The Study in Europe portal
www.study-in-europe.org
- EUA
<http://www.eua.be/>

16